

全校朝会 講話(5.17)

皆さん、おはようございます。

新しい学年が始まって1ヶ月と少し経ちました。今年、入学した1年生は35名。ゴールデンウィークの前のことでしたので、少し思い出してほしいのですが、1年生を迎えての1年生を迎える会を4月27日にオンラインで行いました。全校向けに一人一人の名前入りのカードを用意し、自己紹介では自分の名前と好きなものを発表してくれました。その次の週には、1年生から6年生でつくる、なかよし班活動がスタートしました。その後の様子で見かけたことを言います。登校の様子を見ると、1年生にやさしく声をかけている6年生の姿を見つけました。休み時間の様子を見ると、自然と一緒に遊んでいる5年生の姿を見つけました。同じようなことが、4年生にも3年生にも、2年生にも、見つけることができました。いろいろなところで、上の学年の子が1年生に声をかけている様子を見かけます。

ところで、入学式には、他の学年は参加していないのでわからないと思いますが、入学式で私は、「1年生になったら」の本を読み聞かせしました。1年生になったら♪の歌にある歌詞を本にしたものです。友だち百人作るには、2年生から6年生までの協力が必要です。きっと九峡小の2年生から6年生までがやさしく声をかけ、1年生にとって、友だちが百人できることを信じています。

話は変わりますが、あいさつのことで話があります。ある先生から九峡小の子は、あいさつをするときにきちんとお辞儀をする子が多いですね、と言われました。確かにその通りだと思います。お辞儀をして挨拶をしてくれると挨拶をしている様子が、よく伝わりますね。特に今は、マスクをしているので、どんな顔であいさつをしているのかわかりません。その時にお辞儀をしてくれると、ああ、あいさつしているな、と相手の人に伝わってきます。このように、良い習慣は、これからもずっと続けましょう。

これで校長先生の話が終わります。